

匱賓閣復元図制作事業募金趣意書

～復元図並びに報告書作成にご協力を～

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、匱賓閣は、元禄11年(1698)に徳川光圀公が那珂川河口を望む日和山と称する高台(現湊公園)に建てた水戸藩の別邸で、「湊御殿」とも称されました。

幕末の元治甲子の乱(1864)で焼失するまで166年間にわたり歴代藩主がしばしば訪れ、酒宴や詩歌の会が催される一方、幕末には国防の拠点としての役割を担ってきました。

その建物の構造は、模写された平面図から建坪約1,000㎡、部屋数は30近くに及び、2階部分も有する豪壮な建物であったと推定されます。

また、建物の東側一帯は日本庭園が造園され、現存する見事な老松12株は須磨明石から光圀が取り寄せたと伝えられており、匱賓閣跡とともに市指定文化財となっています。

しかし、この匱賓閣に関する現存資料は非常に少なく、外観や構造、建物配置など多くの点で詳細は不明です。

当研究会では匱賓閣に関して長年にわたり研究・調査を続け、平成5年には井戸跡を発見するなど一定の成果を上げてきました。今般、古建築の調査・設計・建築を手掛ける「伊藤平左工門建築事務所」と巡り合うことが出来、復元図等の制作を研究会と共同で行うことがまとまりました。

これもひとえに関係者皆様方のご指導ご鞭撻のお陰と、改めて心から感謝申し上げます。

ここに、復元図等の制作を完遂するために、下記の事業を推進することにした次第でございます。

つきましては、本事業の趣旨にご賛同いただきますとともに、計画通り達成できますよう、絶大なるご協力とご援助をいただけますよう切にお願い申し上げます。

平成20年10月

匱賓閣復元研究会

会長 高田憲一郎

事業の概要

1 匱賓閣復元図の制作

制作する図面 ①平面図 ②立面図 ③配置図 ④鳥瞰図

2 匱賓閣調査・研究報告書の発行

3 復元図等制作の依頼

依頼先事務所 伊藤平左工門建築事務所(東京都) ※別紙参照

募金要領

- 1 募金目標 500 万円
- 2 1口1万円(1口以上)
- 3 送金先 同封の振込用紙で直接下記事務局宛ご送金ください。
ご指示いただければ、直接担当者が参上いたします。
受領書は、入金次第事務局からお送りいたします。
- 4 振込先 常陽銀行 湊支店(店番 014) 普通 口座番号 1477292
名義 夔賓閣復元研究会 会長 高田憲一郎
- 5 ご報告 募金事業終了後、決算報告書、寄付者芳名簿をお送りいたします。
ただし、芳名簿への実名記載をご遠慮なさる場合は、ご指示通りに
いたします。
- 6 補足 3口以上ご寄付いただいた方には、報告書を送らせていただきます。
5口以上ご寄付いただいた方には、報告書と額入り鳥瞰図を送らせて
いただきます。

夔賓閣復元研究会 事務局 高田会長宅

住所 茨城県ひたちなか市田中後 7364

TEL 029-263-7001 FAX 029-263-7170

夔賓閣復元研究会会員

安達 良司 磯崎 満 井上 哲郎 梅原 昭 尾澤 清 鹿志村 吉信
加藤木和夫 齊藤 均 高田憲一郎 栩木 直行 星 秀憲 吉原 明